
「そっくり」

三毛猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「そつくり」

【コード】

N0883BA

【作者名】

三毛猫

【あらすじ】

とてもよく似た姉妹。ある日、姉が妹に入れ替わりを提案して。

【姉妹】 【ぱんつ】 【ケーキ】のお題で書かれた掌編です。

以前t e x p oにて公開していました。現在p i x i vにても「三毛猫の三題話」の一遍として公開中です。

双子じゃないんだけど、わたしと姉は非常に良く似ている。姉の方がひとつ上なのだけれど、見た目がそっくりで、困ったことに誕生日も同じなので周囲の人間に誤解されることが多い。

どういうことかというところ、「双子なのに片方が一学年下ってことは、あんた留年してんじゃないの？」などと友人に疑いの眼差しを向けられてしまうのだ。

例えば、髪型なりを姉と違うものにすればまだ区別がついたのだろけれども、なぜか髪を切るタイミングはいつも同じで、たまに気分を変えようと変えた髪形はなぜか姉と同じになった。

姉妹なんだから二卵性の双子程度には似ていてもおかしくはないんだけど、親にもたまに間違われるくらい似ているというのは、少々似すぎじゃないかと思う。クローン技術を使って姉を複製でもしたんじゃないか、と親に聞いた事があったが、もちろん両親には笑われた。

そのくらい似ている姉妹だったので、姉が風呂上りにぱんつ一枚（しかもそのぱんつはわたしの物だった）で、アイスををなめながら悪巧みを提案してきたときにはうまくいくと思った。

その提案とは「学校で、入れ替わってみない？」というもので、マンガや小説などでよく双子がやっているお互いの入れ替わりというのは、面白そうで、学年が違うもののまあなんとかなると思ったのだ。

翌日、下着すらも取り替えて（実はブラのサイズまで姉と一緒に、姉の教室に入ったわたしに奇異の視線を向けるものは誰もいなかった。さすがに一学年上の授業にはなかなかついていけなかったが、当てられることもなく、なんとか無事に一日を過ごし、帰る間際に、あれ、今日わたしのクラスって家庭科でケーキ作る予定だったようかな？と思いついた。

当然ながら、姉はわたしにケーキを残しておいてはくれなかった。わたしだって姉にケーキを持って帰るつもりがなかったのだから。

(後書き)

つらつらと設定だけ書きなぐって、落とすのに微妙に失敗してる気がします。

自分がケーキを姉に持って帰ろうって思っていたら、きっと姉もケーキ持って帰ってきてくれたはず。見た目だけでなく、考えてること「そっくり」だったという感じでしょうか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0883ba/>

「そっくり」

2012年1月2日00時48分発行